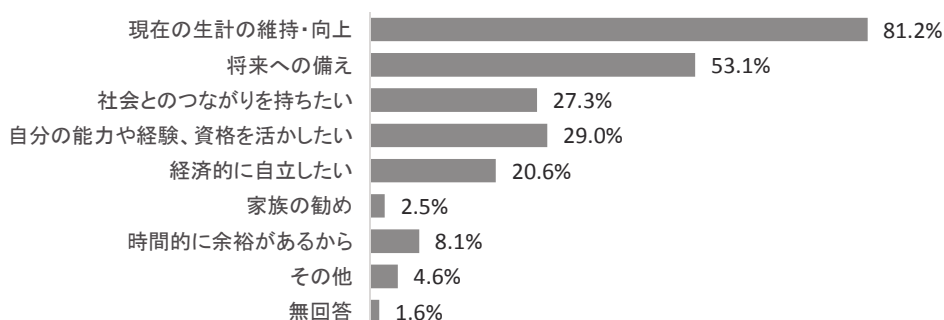


①-1 重視する条件

就業を継続する理由を聞いたところ、未就業女性と同様に経済的な側面が大きかった。ただし、「将来への備え」(53.1%)ではなく、「現在の生計の維持・向上」(81.2%)が最も多かった。また、仕事を継続する上で重視する条件としては、66.7%が「勤務時間・日数、残業の有無」を挙げており、未就業女性と同様に最も多い回答となった。一方で実際には、働く日数は週5日以上が73.4%、働く時間は1日7時間以上が65.3%(7時間19.9%、8時間超45.4%)と、就業女性の約7割がフルタイムの勤務条件で働いている。

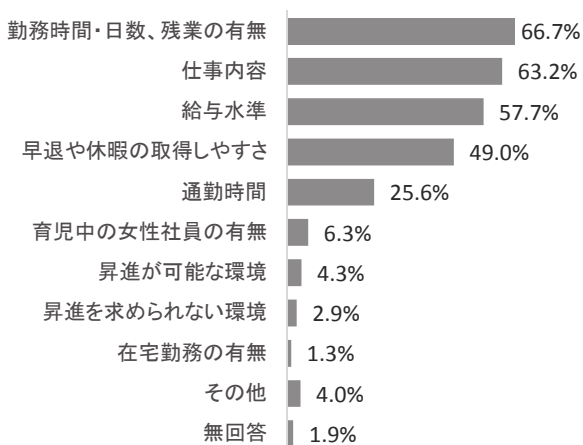
給与水準を重視する傾向は未就業女性(23.1%)より強く、57.7%が重要視すると回答している。現在の年収は103万円未満(扶養の範囲内)が24.9%、81.6%が400万円未満であった。

仕事を継続する理由(複数回答、N = 5,286)

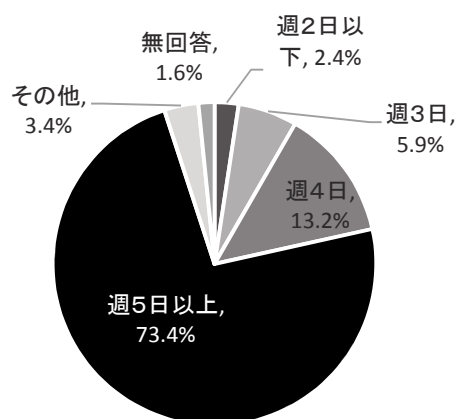


仕事を継続する上で重要視すること

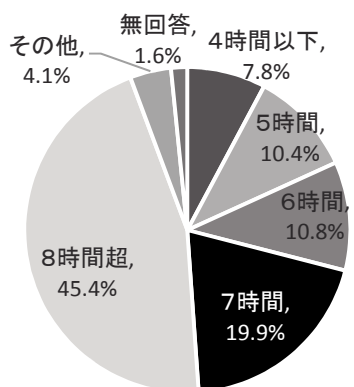
(3つ選択、N = 5,286)



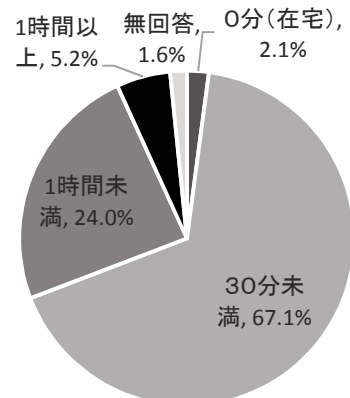
現在の労働日数(N = 5,286)



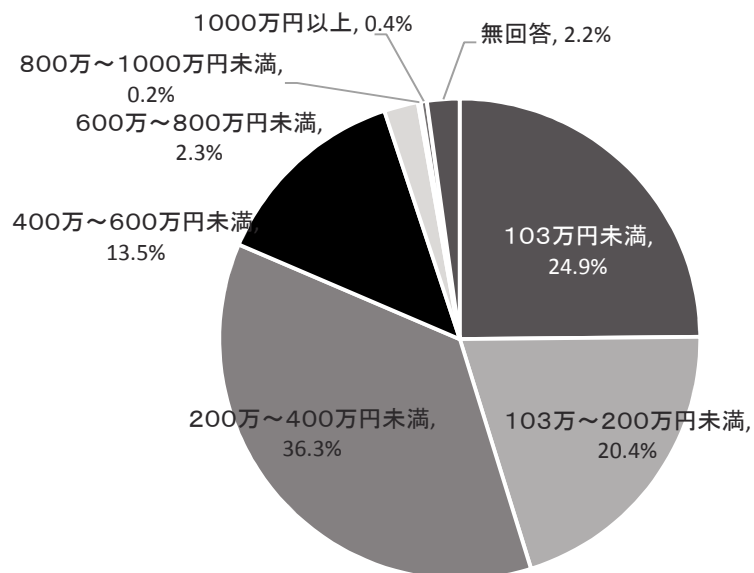
現在の労働時間 (N = 5,286)



現在の通勤時間 (N = 5,286)



現在の年収 (N = 5,286)



約 6 割が在宅勤務の利用を希望している。一方で、実際に在宅勤務している人は 1.6%にとどまっている。

